

《 理事会報告 》

第3回 理事会

令和4年9月17日(土) 9:00~12:00

I あいさつ

II 決議事項

1. 職能委員の変更について
2. 公益社団法人 滋賀県看護協会 就業規則の改正について
  - 1) 育児・介護休業等に関する規程の全部改正
3. 公益社団法人 滋賀県看護協会 職員給与規程等の改正について
  - 1) 在宅ケアセンターみのり
  - 2) 看護協会 本部
  - 3) 職員給与に関する細則

III 協議事項

1. 「かいつぶりのわ」5号の発行について
2. 法人化70周年記念事業について

IV 報告事項

1. 重点事業の中間報告(進捗)
2. 地区支部活動中間報告
3. 滋賀県知事等への要望について
4. 業務執行理事活動の報告

V その他

1. 地区支部・職能委員会等の協会ZOOMの活用について



令和5年度  
予算・政策に関する要望を実施しました

令和4年9月6日、滋賀県知事に対して、令和5年度予算編成に関する要望書を提出しました。

《 要望事項 》

1. 滋賀県保健医療計画の中間見直しに基づき、県内就業看護職員・看護補助者の確保推進を図りたい。
2. 県下の保健医療福祉施設の新興感染症看護の質向上のために、感染管理認定看護師養成機関を開講されたい。
3. 県・市町行政の新人保健師の確保定着のための支援体制を整備されたい。
4. 介護施設の看護職の実践力向上への支援を図られたい。
5. 周産期医療の4ブロック化や地域の母子保健の体制充実に向けて、ブロック内の関係者会議を主宰されたい。
6. 特定行為研修受講支援を強化推進されたい。
7. 全ての看護職の処遇改善の実現に支援していただきたい。
8. 県担当課に看護係の設置や看護職の増員等充実を図られたい。

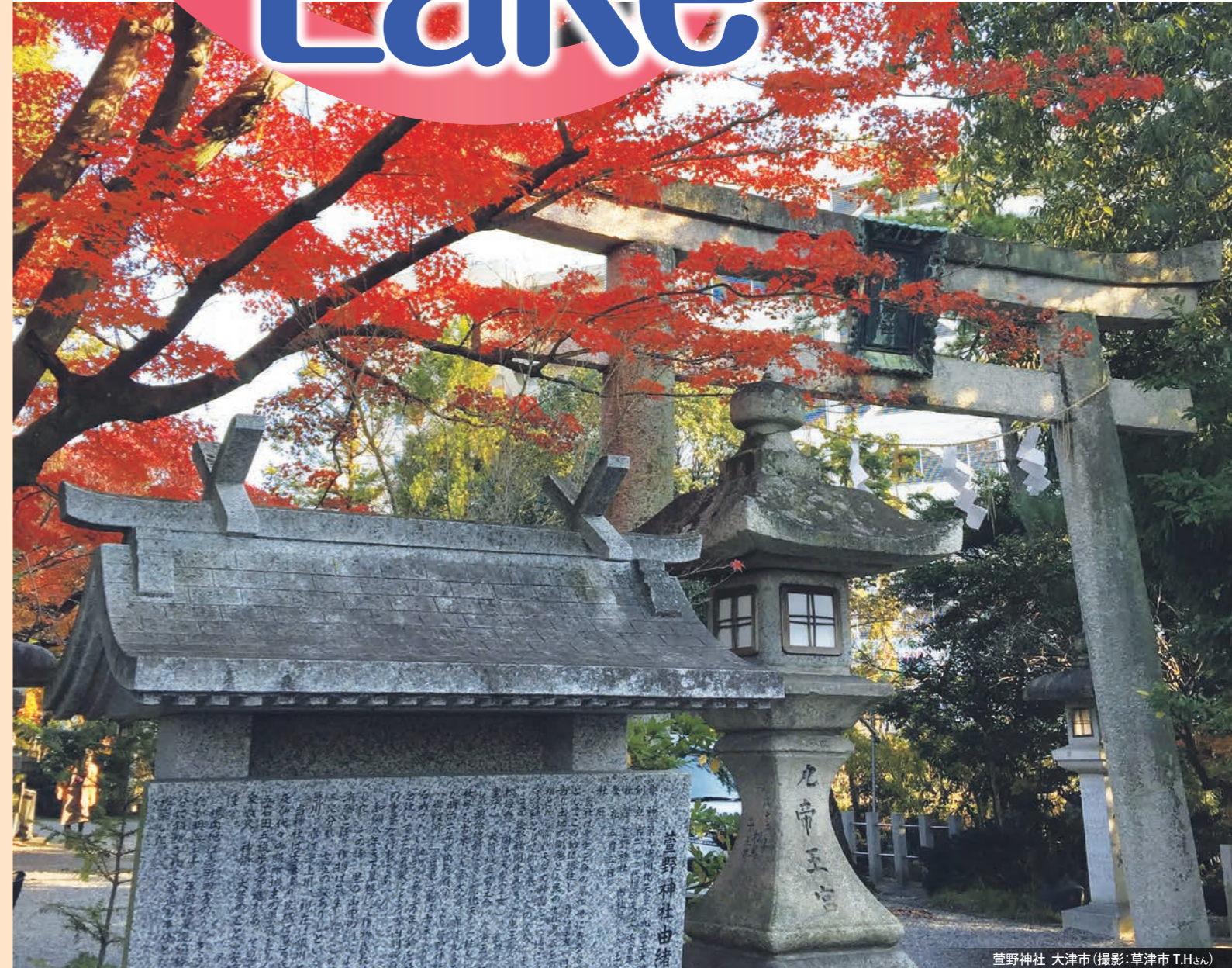


# Nurse Lake

広報紙「ナースレイク」

Vol.156

2022年10月



萱野神社 大津市(撮影:草津市 T.Hさん)



- ▶ ナースレイクを毎月拝見しています。皆さんの活動に情報を得、共感させられることや、活力とさせて頂いている日々です。広報委員の皆さん、これからも活動頑張ってください。楽しみに待っています。(K.A)
- ▶ コロナ禍での各支部の方々の活動報告をいつも大変興味深く拝見させていただいており、参考にさせていただいています。これからも頑張ってください。(T.M)

編集後記

今夏の第7波では新規感染者が過去最高を更新し、滋賀県内の医療機関や施設でも多くの看護職の仲間が最前線で実践されていたとお聞きしています。2022年度後半は、さらに明るい話題でいっぱいになることを期待し、自分の身体も労わりながら共に頑張ってください。(K.S)

投稿大募集!!

「表紙の写真」「会員の声(ご意見・ご感想)」に投稿をお待ちしています。とりあげて欲しい内容でもけっこうです。広報委員が取材に行きます。ふるってご応募ください。詳しくはホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック!(次回発刊は1月中旬予定です)

CONTENTS

《一番星見つけた!》クラスター対応:人を大切にする組織を実感! 2~3	働き続けられる職場環境づくりの推進.....8
Voice~これからの看護職に期待すること~.....3	看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに関する
地区支部だより.....4~5	ガイドライン及び活用ガイド.....9
《活動報告》認定看護管理者教育運営/看護師職能II委員会.....6	第25回滋賀県看護学会のお知らせ.....9
《研修報告》ラダーI・II対象:一人の力をチームのために.....7	ナースセンターだより/はたさぼ通信.....10~11
《研修報告》実習指導者講習会(特定分野)を受講して.....7	こんにちは!事務局です/会員の声/編集後記.....12

発行所 ● 公益社団法人 滋賀県看護協会  
発行責任者 ● 会長 草野とし子  
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号  
TEL.077-564-6468 FAX.077-562-8998  
https://shiga-kango.jp/



三方よし精神で 看護の力で  
滋賀を元気に!

滋賀県看護協会

検索

滋賀県看護協会会員数(令和4年9月4日現在)

保健師/ 334人	助産師/ 313人	合計 9,188人
看護師/ 8,376人	准看護師/ 165人	

一番星★  
見つけた!

介護老人保健施設 リスタあすなろ 鳥居 ひろみ

## クラスター対応 人を大切にする 組織を実感!

老人保健施設リスタあすなろは、のどかな田園風景が広がる日野町にあります。

「リスタ」は“restart”の略で、「新しく始める」を意味し、「檜のように明日なろう」「憧れの姿になりたい」という希望をこめて「リスタあすなろ」と命名されたそうです。

私は令和3年4月、同じ医療法人の関連病院より異動してきました。急性期病棟、訪問看護、療養病棟を経験し、看護師としての集大成を施設看護で終わると思うと感慨深いものがあります。実は、この原稿の執

筆のお話をいただいた際、何について書こうかと思いを巡らせていた矢先、3年目にとうとう施設内で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生してしまいました。自施設がそのような状況になった時、改めて早くにクラスターが出てしまった施設職員の皆様がどれ程大変な思いをされたかを思い知りました。たくさんの情報があり、事前の心づもりや準備ができる今日ですら、クラスターが出た時はパニック状態になります。まだ情報が十分でなかった当時は、本当に大変だったことと思います。

また、老人施設での感染予防対策は、病院より段違いに難しいことを痛感しました。認知症の方はマスクすら装着できず、グリーンゾーンである職員詰所に普通にいられます。原則、抑制をしないため、部屋に隔離された方も自由に出てこられます。このような状況の中、入所者の感染は次々に広がり、職員も入所部門の看護師、介護職員の6割が感染するといった非常事態になりました。とにかく介護職員・看護師の人手が足りませんでした。施設内の全職員が協力し、法人の他施設スタッフの応援を受けながら、今ではほとんどの職員が無事復職し



リスタあすなろ 玄関風景



デイサービスの壁画飾り

業務にあたっていますが、今回改めて「組織は人なり」ということを思い知りました。そして「人は宝」ということも。感染していない職員は愚痴ひとつこぼさず過酷な勤務をこなし、感染してしまった職員の中には「一日でも早く職場に復帰したい」「もう大丈夫です」と言ってくれる人もいました。皆の協力なくしてはこの危機は乗り越えられなかったと思います。

クラスターを出してしまったことはもちろん反省と検証をしなければなりません。この施設の職員ならこれから先、困難があったとしても協力し合いながら立ち向かっていけると感じました。看護も介護も、やはり人の力や手が必要です。人を大切にする組織でありたい、大切にされている人だからこそ、患者さんや入所者さんを大切にできると信じています。

## Voice

これからの看護職に期待すること

滋賀県言語聴覚士会 会長 佐敷 俊成 氏

十数年前ですが「嚥下障害の〇〇さんに私たちができることを教えてください」と看護師さんから声をかけられた時に、とても嬉しかったことを覚えています。

言語聴覚士 (ST) は急性期病院では摂食・嚥下障害の方に多く関わります。ひと昔前は、嚥下評価や食事介助はSTでという風潮がよくみられましたが、最近では「水飲みテストでむせたけど、300ccにとろみ1本 (3g) では大丈夫だったよ」と、STが介入するよりも前に、看護師さんが積極的に嚥下評価をしてくださることが増えました。そのため、食事もSTが評価した後に、円滑に病棟に移行



嚥下食

することができるようになりました。高齢者は少しの絶食期間でも嚥下機能が低下してしまいます。円滑な連携で、患者さんに3食提供できるタイミングが早まり、絶食による廃用症候群を防ぎ、退院も早めることができるようになりました。



佐敷 俊成 氏

看護師さんは常に患者さんが早く退院できるように必要なことを考え、それを実行する方法を思案し、看護部全体でスキルのアップデートが行われています。STにとって、大変心強い存在でありパートナーです。これからも連携を深めながら、一緒に県民の健康に携わっていきましょう。

## 第1地区 支部



支部長 西村 由香

令和4年度、第1地区支部総会ならびに第1回研修会を、JCHO滋賀病院にて7月30日土曜日の午前中、第7波のコロナ感染症が拡大する中ではありましたが、26名ご出席いただき開催しました。本年度、滋賀県看護協会長に就任されました草野とし子会長をお招きし、看護協会の動向と令和4年度の重点事業について説明して頂きました。また、令和3年度の活動報告と令和4年度の活動計画、および旧役員・新役員がご挨拶させていただきました。アンコール公演としてJCHO滋賀病院の大西志保里看護師長より、沖縄・大阪の広域看護師派遣報告を頂きました。改めて、身が引き締まる思いでした。

コロナ感染症の収束はまだまだ見えません。今年度も、地区支部協会員の中で情報を共有できるように、支部だよりの発行を継続していきます。また第2回研修会は、Webを活用した研修会を計画しています。今年度の地区支部活動におきましても、昨年同様に感染防止に細心の注意を払いながら皆様のご協力を頂き、ネットワーク強化に努めてまいります。



第1回研修会

## 第2地区 支部



支部長 大塚 喜久江

コロナウイルス感染は続いていますが、今年度も看護をつなぐコアネットKONANとの共催で集合研修を企画する予定です。また、多職種との連携も強化していくため、歯科衛生士や薬剤師の協力を得て、研修会を開催できればと考えています。

認定看護師等による出前講座は、施設から「具体的に教えてもらったのでわかりやすかった」「自施設を見て助言をもらったのでよかった」等、好評を得ており、施設に派遣することで看護職員だけでなく、介護士や理学療法士等も研修を受けられ、多職種との連携も担っているのではないかと感じました。今年度も専門看護師・認定看護師等の協力を得て、多くの施設への要望に応じていけるよう計画を立てているところです。

第2地区支部内に勤務する看護職員が協力してそれぞれの役割を担い、県民へより良い看護の提供ができるよう、皆さんの協力を得ながら活動していければと思います。



地区支部集会

## 第3地区 支部



支部長 與那城 隆幸

新型コロナウイルス対応の影響で、昨年度はオンラインの活用や少人数開催など工夫した取り組みを行ってきました。今後少しずつ行動制限が緩和される中、会員へ効果的な活動や還元が行えるように連携を行います。

令和4年7月2日に、草野とし子滋賀県看護協会会長をお招きし、第三地区支部集会を開催しました。令和4年度の第三地区支部活動予定として、地域の人材活用を促進し圏域内のスペシャリストの活用など看護管理者と連携をとりながら地域とつながる活動が行えるように取り組みを予定しています。また、地区支部集会の中では今年度の活動計画案とともに看護職ネットワーク推進会議の役員を変更し、訪問看護代表者を追加致しました。病院の看護管理者と保健所、地域を支える訪問看護の代表を加えてネットワークの推進を図り地域フォーラムの開催を目指していきます。

その他の活動として、プラチナナースの活躍や看護観を語る企画やコロナの状況をみながら“まちの保健室”などの活動再開ができればと考えております。



地区支部集会

**PR** 各施設の医療から在宅医療までを見据えた視点の育成と、それぞれの現場に適用する看護実践能力の向上を目指し、看護職が団結してネットワーク構築に励んでいます。昨年同様に「暮らし」を支える寄り添う連携を目指します。

## 第4地区 支部



支部長 神 千草子

第4地区支部は今年度も「看護の力で東近江を元気に！」を合言葉に看護実践能力向上、看護職の連携強化を目指し活動しています。

今年度最初の研修会は、6月25日に「Will-Must-Can」でセカンドキャリアを創造しよう～安心して働き続けるために～地域への貢献、地域での看護実践を考える」と題し、(株)日本看護サービス代表取締役・京都橋大学看護学部准教授の餅田敬司先生をお招きしてハイブリッド形式で開催しました。グループワークでは「リタイア後どんな人生を描きたいか」をテーマで話し合い、自身のセカンドキャリアについて考える貴重な時間となりました。今後の支部活動として、看護実践能力向上のための研修会、フィードバックカンファレンスの継続、地域住民健康増進・予防のための出前講座等、無理なく状況に合わせた開催時期、方法を工夫しながら活動していきたいと思えます。



セカンドキャリア研修会

## 第5地区 支部



支部長 矢田 晴美

第5地区支部は、「その人らしい生活を馴染みの暮らしの場で可能な限り続けられる地域」を目指して活動していますが、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの拡大状況で計画していた活動が急遽延期や中止になる状況が続いていました。そのため今年度はコロナ禍でも可能な方法を工夫して活動を実施しています。前期の活動をご報告します。

### 重点事業1：看護実践能力の強化

- ▶オンライン出前講座テーマ：「がん治療の最前線」
- ①知っておきたい最新のトピックス ②がん治療期の実際に役立つケア
- 講師：木下千恵美先生(彦根市立病院・化学療法看護認定看護師)
- 期間：令和4年9月15日～10月14日

### 重点事業2：看護職連携強化による地域看護力の向上

- ▶昨年作成した動画「家庭で役立つ感染防止対策」を、圏域内の大学のオープンキャンパスや病院の外来ホールの掲示モニターで活用し啓発を実施しています。今後は自治会等の地域での活用にも拡大していきたいと考えています。

後期においても感染症対策を講じながらの活動になりますが、会員の皆様の温かいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



動画を病院等のモニターで掲示

## 第6地区 支部



支部長 脇坂 直隆

第6地区支部は、湖北圏域(長浜市、米原市)の病院、訪問看護ステーション、診療所、介護保健福祉施設、保健所、市町保健センター、看護学校等の看護職(会員約1,300人)に支えられています。

当支部は、平成26年度から多職種連携を目的に、湖北圏域看護職連携会議を開催し、研修会や事例検討会を積み重ねてきました。更に、平成30年度から湖北圏域看護ネットワーク推進会議も加わり、地域連携や顔の見える関係の強化に努めています。

今年は支部集会・講演会を3年ぶりに対面で開催することができました。講演会は、命の尊さを再認識できる内容でしたが、参加者各々の思いを肌感覚で感じられ「気持ちの共有」ができたひと時でした。

今後の活動計画には、感染対応研修会や看護管理者研修会、出前講座、まちの保健室などを計画しています。感染対策と両立しながらになりますが、会員の皆様の温かいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 第7地区 支部



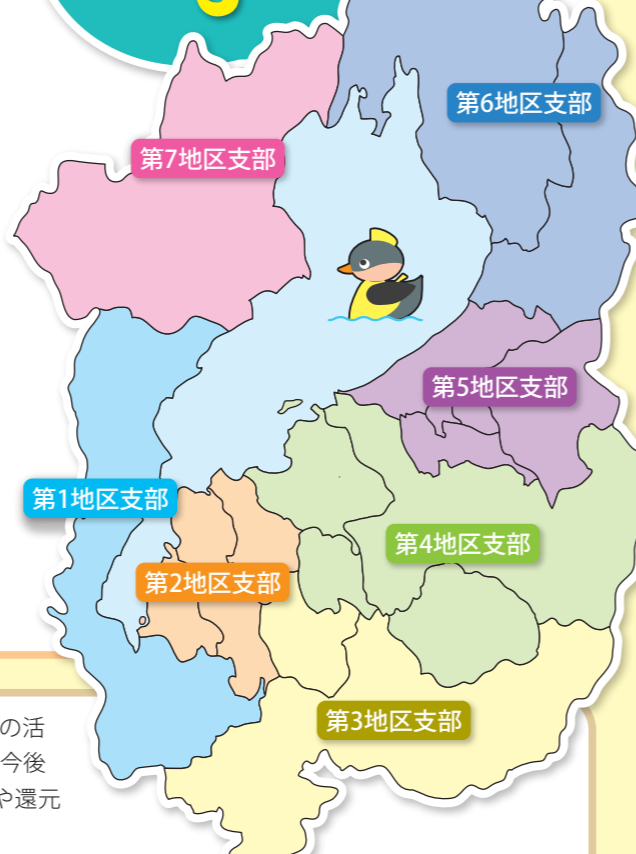
支部長 藤本 栄江

第7地区支部は「地域の中で働く看護職が協働して看護実践能力を強化できる関係を構築する。」「保健・医療・福祉など様々な分野で働く看護職の看護実践を知ることで看護の視野を広げる。」という地区支部活動方針のもと、様々な機関と協力して、会員数286人という小さな支部の強みで、顔の見える関係作りをモットーに地域包括ケアシステムを構築していきたいと考えています。

7月に地域医療連携推進法人(看護部)との合同企画で、「アンガーマネジメント」の研修会を開催し、アンケート結果により好評だったという意見をいただきました。また先日高島市からの依頼で「自衛隊フェスタ50・70 in 高島」への協力をさせていただきました。「まちの保健室」も市民病院の出前講座と協賛して、随時開催しています。このような形で様々な機関と協賛しながら、皆様のご協力のもと、積極的な活動を続けていきたいと思えます。



ブルーインパルス  
(自衛隊フェスタ50・70 in 高島)



# 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 東 美香



ファーストレベル開講式

認定看護管理者教育運営委員会の活動について紹介させていただきます。

この委員会では、①認定看護管理者教育や今後の育成に関すること ②ファーストレベル教育の実施・評価に関すること ③セカンドレベル教育の実施・評価に関すること等を検討しています。

近年、医療・看護の働く現場の多様性・複雑性などが高まっています。それらに対する看護管理者の役割はとて大きく重要です。看護管理の仕事は、大変ではありますが、看護管理ならではの奥深さ・面白みがあり、悩みながらもその楽し

さを実感できることが魅力です。そのような魅力的な看護管理を実感し、現場の看護管理に活かせるような管理者教育運営を検討していきます。

委員は、認定看護管理者として様々な現場で看護管理業務を行っている6名です。委員会は年間通して5回の開催となっていますが、認定看護管理者教育課程の効果的な運営・修了認定などに対してタイムリーに検討を行っています。看護職の方々の看護管理研修などに繋がるような支援をしたいと思っています。



ファーストレベル講義

# 看護師職能Ⅱ委員会

委員長 平井 里津子

看護師職能Ⅱ委員会は、介護福祉施設・在宅・訪問看護・診療所など病院以外のさまざまな領域で働く看護師で構成されています。

活動内容としては、前記のあらゆる場での情報収集と課題発見を行ない、看護の質や看護実践力向上に向けた研修企画・共有する場としての交流集会を行なっています。

一昨年からのコロナ禍において、一堂に会しての場の持ち

方が困難となり、WEBや通信（紙面）という形での情報発信も増えています。どのような形であれ、私たちの活動は必要なことであり、日本看護協会・滋賀県看護協会の方針に基づき活動を検討して実施しております。

今年度は、“穏やかに死を迎えるためのACP（アドバンス・ケア・プランニング）支援”について語り合おうという研修を交流集会として企画しました。また、昨年度に続き“業務継続計画（BCP）の周知と活用推進”のための研修をシリーズ化し、実践編という形で開催します。コロナの感染拡大でまさに有事対応となっている今、とてもタイムリーかつ必要な研修だと思っています。

“withコロナ”で、この厳しい状況を乗り越えていくために、引き続き感染対策を徹底しながら「かからない・うつさない・ひろげない」を啓発していきます。委員会は短時間開催にして毎月活動を行い、情報収集や課題について、職能通信等で皆様に発信していければと思っています。



## 研修報告①

ラダーI・II対象

# 一人の力をチームのために

## ～ チームメンバーとしての役割を發揮するために ～

コロナ禍の中、約50名の参加がありました。グループに分かれてメンバーシップを学ぶチームを作り、チームになるために最も大切なことである「心理的安全性」を基盤にしたグループワークを何度も行いました。課題に対し各グループ代表者が要点を簡潔に述べられ、短時間の間にしっかりとメンバー

シップが發揮できていると感じました。

「メンバーシップの力量が上がれば看護チームの質が上がります」と講師の多川晴美先生の最後の言葉は、参加者の心に残り実践現場でメンバーとしての役割を發揮されていることと思います。



# 実習指導者講習会(特定分野)を受講して

## 研修報告②

特別養護老人ホーム美松苑 看護師 竹内 由美

私ども老人ホーム美松苑は毎年看護学生の実習を受け入れています。実習内容は食事介助・入浴見学等をただ介助してもらい見学してもらうだけで、指導する側の私は指導者としての目的意識に乏しく内容のない実習だったことを今は反省するばかりです。

4年度の研修に参加してもらい、大きな達成感を感じ沢山の学びがあったと喜んでくれました。

今年度の実習受け入れに際しては、自分たちは学生に何を学んでほしいのかを文書にしてスタッフ間で共有を行いました。以前とは違う指導者としての姿勢があり、より良い学生指導ができたと感じました。

令和3年度特定分野実習指導者講習会の研修に参加させて頂き、実習指導案の作成にあたり教育原理・教育心理学を学んだことで、実習生を受け入れる気持ちや姿勢が大きく変化しました。もっと早くこの研修に出会っていたら、今までに出会った学生・先輩に中身のある指導ができたのではないかと反省しました。またスタッフにも学んでほしいと思い、令和

実習指導者講習会は、学生を指導する上で大変大きな学びがあると思います。今後多くの看護師がこの研修に参加されることを願います。



# 働き続けられる職場環境づくりの推進

今年度も新型コロナウイルス感染が長期化し、私たちの働く職場環境は今まで以上に厳しいものとなりました。また、感染拡大がすすみ医療ニーズが高まっている今、私たち看護職が健康で安全に働き続けられる職場を作ることには急務となっています。

労働環境改善委員会では、以下の3点に取り組んでいます。ご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

- 1 看護職の処遇改善に関すること
- 2 「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」の理解や周知、現場の課題検討に関すること
- 3 「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン」の活用推進に関すること

**今年度の研修予定** \*是非ご参加ください!

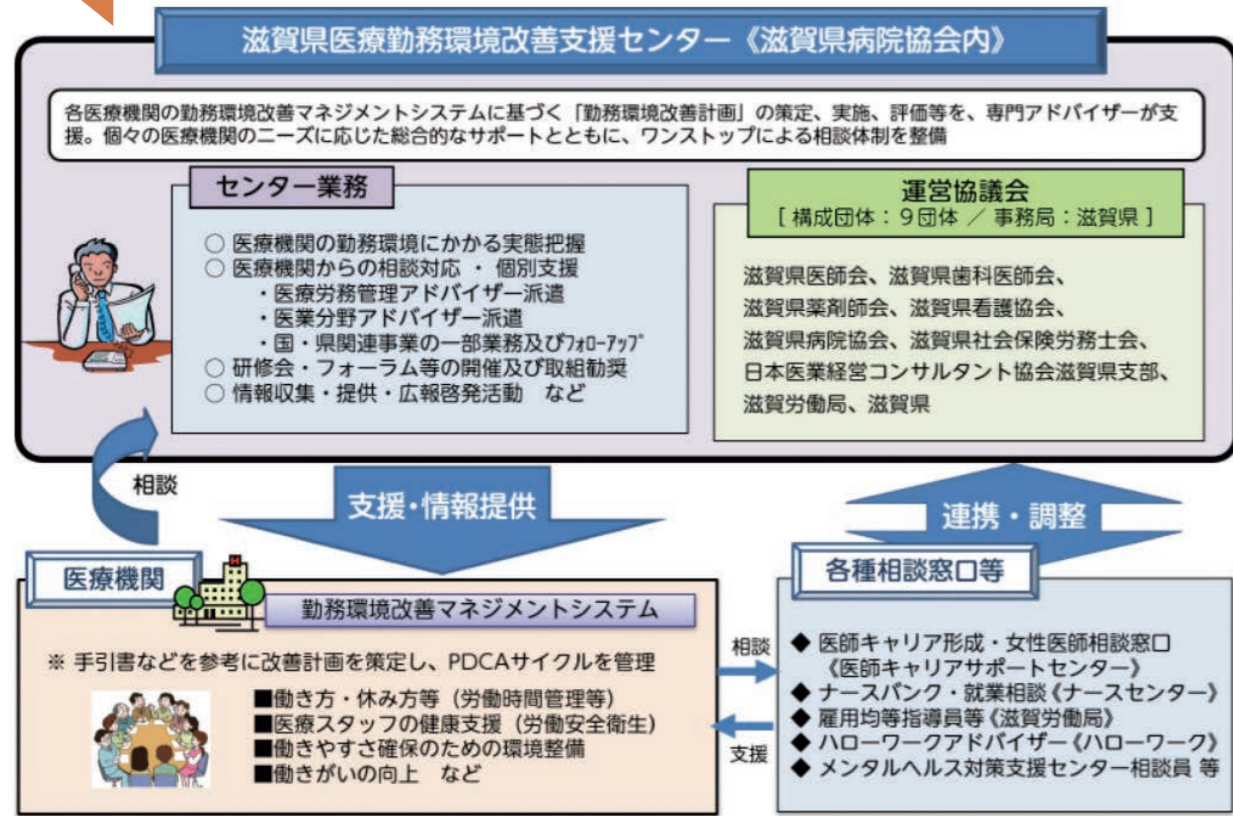
**看護管理者が生き生きと働き続けられるために**  
**2022年10月13日(木) PM**  
 ●講師:公益社団法人 京都府看護協会 会長 豊田久美子氏  
 看護管理者が生き生きと働くことで、部署を活性化し、健康で安全に働き続けられる職場環境作りにつながります。また、参加者の情報交換も行います。

**プラチナナース研修会**  
**2022年12月15日(木) PM**  
 セカンドキャリアを考える機会となるように研修を企画しています。40歳からの参加が可能です。

**ヘルシーワークプレイス関連研修会** (内容は検討中です)  
**2023年2月16日(木) PM**

労働環境改善委員会は働く皆様をご支援します。

## 滋賀県医療勤務環境改善支援センターをご存知ですか？



出典: 滋賀県医療勤務環境改善支援センターホームページ

医療従事者の勤務環境改善に資する**無料相談対応窓口**があります。Tel. **077-500-3106** (専用)  
 \*上記のようなご相談には是非ご利用ください。

### 【看護師I職能委員会】

日本看護協会  
発行

## 『看護の専門性の発揮に資する タスク・シフト/シェアに関する ガイドライン及び活用ガイド』

ご存知  
ですか？

看護の専門性の発揮に資する  
タスク・シフト/シェア  
に関する  
ガイドライン及び活用ガイド

このガイドラインは、医療機関において医師の働き方改革が進められる中で、看護師がさらに専門性を発揮することで、国民に必要な医療が安全かつより一層タイムリーに提供されることを目的に作成されました。

タスク・シフト/シェアは、医師や看護師のみならず多職種が「患者にとっての利益」を共通目標とし、取り組む必要があります。各職種の法令等で定める業務範囲や業務を実施する際の指示などの要件を理解・共有すること、そして看護師がその専門性を要する業務に専念できるように他職種との業務分担を推進することが大切です。

看護師I職能委員会では、滋賀県内の病院を対象に令和3年11月にタスク・シフト/シェアに関する実態調査を行いました。

その結果、「院内に他職種間のタスク・シフト/シェアを検討する委員会がある病院」は25%でした。また、そのうちの50%の病院で1回/1~2月の会議が開催されていました。

あなたが働く職場でタスク・シフト/シェアを推進するために、このような話し合いの場がありますか？まずは、病院全体として話し合う場づくりから始めてみませんか？

●詳細はガイドライン参照。ガイドラインは日本看護協会HPIに掲載しています。

[https://www.nurse.or.jp/nursing/shift\\_n\\_share/guideline/index.html](https://www.nurse.or.jp/nursing/shift_n_share/guideline/index.html)

# 第25回滋賀県看護学会のお知らせ

【学会委員会】

**第25回 滋賀県看護学会**  
 学会テーマ  
**次世代につなぐ看護**  
 ~コロナから私たちは何を学んだか~

**日時**  
 令和4年12月8日(木) 10:00~16:30

**場所**  
 滋賀県看護協会 看護研修センター

**参加費**  
 無料

**プログラム**  
 午前:看護研究発表会  
 午後:基調講演・シンポジウム【一般公開】  
 ◆基調講演 (13:45~14:45)  
 「これからの看護職への期待」  
 講師:前滋賀県看護協会会長 廣原恵子氏  
 ◆シンポジウム (15:00~16:30)  
 「次世代につなぐ看護への期待」  
 シンポジスト:滋賀県立総合病院 大江 秀典氏  
 関西臨床教師会 認定臨床教師 野々日月泉氏  
 前滋賀県看護協会会長 廣原 恵子氏

**開催方法**  
 ハイブリット形式(会場参加・Zoom参加)

**申込方法**  
 滋賀県看護協会研修申込サイトよりお申込みください  
 公益社団法人滋賀県看護協会

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年・令和3年の2年間は、厳しい状況の中でも看護の質を向上させるために取り組んでいただいた看護研究・実践報告について、WEB形式で看護研究発表会を開催してきました。

研究発表等の演題数は少ないですが、今年度は県民の皆様にも看護を知っていただくために、一般公開で基調講演・シンポジウムを開催することにしました。

開催方法については、新型コロナウイルス感染拡大の状況予測できないため、WEBと対面によるハイブリット形式で開催いたします。より多くの方に参加いただけるように、ZOOMの回線数を増やし整備を行いました。

テーマについては、「次世代につなぐ看護」と少し大きいですが、コロナ禍から私たちが学んだこと、考えなければいけないことを確認する機会になればと考えています。

多くの方にご参加いただけますようご案内いたします。

参加費については、無料で開催いたします。

## 夏休みの事業

学生や求職を検討中の方対象に様々なイベントを実施しました

### 看護職員就職説明会

7月27日：南会場（滋賀県看護研修センター）・8月18日：北会場（米原文化産業会館）で初めて2か所で開催しました。



南会場



北会場

### 就業ガイダンス

8月5日看護学生を対象に、多様な職業を紹介する就業ガイダンスを開催しました。



### 高校生「一日看護体験」

7月27日～29日（一部8月実施）にかけて高校生「一日看護体験」が実施されました。コロナ禍の大変な中、ご協力いただいた病院様ありがとうございました。限られた中、様々な経験ができたようで大変好評でした。



### 進学説明会

8月9日看護大学・看護専門学校へ進学希望する高校生を対象に県内の学校が合同で説明会を行いました。



今後の  
ナースセンターの  
事業予定

- 10月13日(木)……………ワーク・ライフ・バランス研修会
- 11月11日(金)／11月24日(木)／12月2日(金)… 3年目看護職員研修会
- 11月22日(火)……………(新) サポートナース有事協力者研修
- 12月16日(金)……………プラチナナース研修会
- 令和5年1月……………第3回リスタートナースサポート研修・スキルアップ研修
- 令和5年1月31日(火)……………第2回看護補助者研修会
- 令和5年2月16日(木)……………第2回ワーク・ライフ・バランス研修会
- 令和5年2月22日(水)……………看護職・看護補助者就職フェア（クサツエストピアホテル）



## 精神サポート こころの相談日

新型コロナ感染症対応で  
不安や悩みをお持ちの方もご相談下さい。

お話ししてみませんか



滋賀県ナースセンターでは、看護職、看護管理者、看護学生を対象に「こころの相談日」を設けています。1人で悩まず、「こんなこと聞いてもいいのかな?」と思わず、まず電話をお待ちしています。

## 受講生の声 Vol.14

### リスタートナースサポート研修を受講して

M.Mさん

「いつでも戻れる」そんな思いが、離職期間の長さとともに「そろそろ復職。けど…不安」と変化し、そう思っていた時に研修案内が届きました。研修への参加も何だか高い壁を感じ、グズグズ、ぐるぐる悩んだ末に、意を決して研修に申し込みました。

案の定、とても緊張しての参加となりましたが、それぞれ状況の違いがある中、他の受講者の方々も復職や看護に対する不安や悩み、様々な思いを持っておられることを語り合い、とても心強い存在になりました。

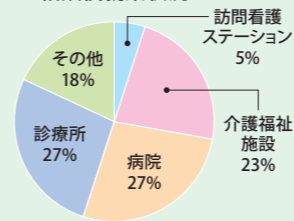
講義では、基礎知識、技術、演習と不足している部分を改めて再認識することができました。講師の先生方が、いきいきと講義を展開される姿は、とても刺激的で輝いて見えました。その姿に、今の自分自身を振り返り、前に進む後押しをしていただいたように思います。コロナ禍で大変な中、講師の方々や研修担当者の方々には丁寧なご指導をいただき、本当にありがとうございました。



## SHIGA! はたは通信

就業コーディネーター 寺村 幸子

〈図1〉  
令和4年4月～8月の  
相談後就業状況



猛暑が過ぎ去り秋も深まり過ごしやすい季節となりました。コロナ禍もようやく落ち着いて来ましたが、大変な中、リスタートナースサポート研修の研修講師の派遣、現地実習の受け入れなどにご協力いただき感謝申し上げます。今回はハローワーク出張相談窓口に来られた方の、令和4年度4月から8月までの相談件数や就業状況についてお知らせします。

令和3年度4月～8月の相談件数63件（相談者数46人）に対し、令和4年度4月～8月の相談件数は79件（相談者数69人）と、昨年に比べ相談者数は1.5倍増となっています。令和3年度は再来所の方が多い特徴がありましたが、令和4年度は再来所もありますが、新規相談者が多いことが特徴として挙げられます。

相談後の就業状況は、8月までに22人（32%）の方が就業されています。就業内訳は（図1）のとおりです。訪問看護、介護施設、病院以外にも、保健所、市役所、学校など、再就業先の選択肢は広がってきていますが、小さいお子様がおられる方や60歳以上の方の再就業先は、条件がなかなか合わず困難な状況も見られます。多様な働き方をめざして再就業先の支援をしていきたいと思っています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

お問合せ先

- 滋賀県ナースセンター…TEL.077-564-9494 / FAX.077-562-8998  
フリーダイヤル ☎0120-22-9494 (祝祭日除く月～金 9:00～17:00)
- 彦根サテライト……………TEL.0749-30-1235 / FAX.0749-30-1233
- E-mail : shiga@nurse-center.net

詳細は  
ホームページを  
ご覧ください

